

平成 27 年度 施策評価シート

| | | |
|------|---|---|
| | 作成日 | H28.11.30 |
| 基本姿勢 | 1 | 安心で魅力ある「定住のしま」 ～分野2 人を大切に、人を守るまちづくり～ |
| 政 策 | 3 | 高齢者が暮らしやすい地域づくり |
| 基本方針 | 高齢者が住み慣れた地域で、生きがいをもって生活できる地域環境づくりや介護予防を推進するとともに、地域における支え合い、高齢者への支援・体制などの充実・強化に取り組みます。 | |

| | | | |
|-------|---|-------------|---------|
| 基本施策 | 1-2-3-① | 高齢者の社会参加の推進 | |
| 主管課名 | 福祉長寿課 | 所属長名 | 萬 屋 三 男 |
| 関係課名 | 生涯学習課 | | |
| 1 次評価 | 基本施策の評価 | | |
| | <p>○高齢者を中心とした子どもの見守り事業、学校での伝承事業など、多様な世代間交流や高齢者の生きがいづくりの推進</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・各種公民館講座や生涯学習事業において、弁財天等の伝統芸能や門松づくりなどを実施し、世代間交流や高齢者の生きがいづくりの推進を図った。</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・高齢者の社会参加を促進するためには、高齢者の社会参加に対する意欲を高めるための機運の醸成と環境づくりが必要である。</p> <p>■今後の取組方針 今後ますます高齢化が進行する中で、地域の活力を維持・増進していくためには、高齢者自身が社会を支える一員として、その持てる能力や経験を十分に発揮し、生き生きと活躍する社会の実現が不可欠であるため、関係課と連携しながら取り組んでいく。</p> | | |
| | <p>○働く意欲のある高齢者の就労機会充実のため、シルバー人材センターと連携した社会参加活動の支援とその環境整備</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・高齢者の技能・経験を活かし、また生きがいづくりの活動拠点となるシルバー人材センターの安定した運営を図るため、住民への啓発活動を行い、会員確保に努め、自立した運営の充実を図っている。</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・家事援助・生活支援事業など受注件数も増加傾向であり、運営も安定してきている。</p> <p>■今後の取組方針 ・新たな就業の開拓や新規会員の確保等により、自立した運営を促していく。また、業務内容が民間事業所と重なるため、民間事業者を圧迫しないように務めていく。</p> | | |
| | <p>○老人クラブ活動をより一層活性化するため、情報提供など会員数増加に向けた支援</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・高齢者が豊かで元気に暮らすための活動を行っている老人クラブ連合会（5支部）と単位老人クラブ（55クラブ）への支援を行った。また、健康づくりや介護予防活動のなかで、単位クラブへの加入について呼びかけを推進してきた。</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・活動内容がマンネリ化しないよう新たな取り組みを自発的にできよう支援することが必要であり、また、引退してまで組織に縛られたくないという人など、若年高齢者が入会しないことが課題である。</p> <p>■今後の取組方針 ・老人クラブも高齢化しており、存続できないクラブも出てきているため、若い世代に加入を図るとともに、閉鎖的な雰囲気改善や周知活動の活発化など、気軽に高齢者が集まれる組織として、今後も機能させていくため検討を行っていく。</p> | | |
| 2 次評価 | <p>高齢者の社会参加を促進するため、老人クラブ連合会及びシルバー人材センターと引き続き連携を図っていくこと。また、シルバー人材センターの経営支援の取り組みについては、運営状況をみながら支援のあり方について適宜見直しを行っていくこと。</p> | | |

| | | | |
|-------|--|----------------|---------|
| 基本施策 | 1-2-3-② | 高齢者を支える地域環境づくり | |
| 主管課名 | 福祉長寿課 | 所属長名 | 萬 屋 三 男 |
| 関係課名 | | | |
| 1 次評価 | 基本施策の評価 | | |
| | <p>○一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が、地域で支えられながら安心して暮らすことができるよう、地域における支援体制の整備</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が地域で生きがいを持ちながら生活を継続するために、「地域包括ケアシステム」の構築を推進し、医療や介護以外で必要となる多様な介護予防や日常生活支援に取り組む環境づくりなど、関係機関と連携して取り組んでいる。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援事業における高齢者への多様な日常生活上の支援体制の充実・強化に向けて、「生活支援コーディネーター」を5地区に分けて配置し、幅広い支え合いの地域づくりを推進していく。 【平成28年4月、各1名を配置】 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活支援コーディネーター」の役割を理解してもらうため、地域の問題を探る地域座談会を開催していく。また、地域での困りごとや悩みごとを解決し、充実した生活支援を進めるための「協議体」を日常生活圏域ごとに設け、課題解決に向けて協議する場を設ける。 | | |
| | <p>○高齢者の介護予防支援及び介護者の自立支援</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防支援事業所として自立支援を目指したプランを作成し高齢者及びその家族の継続的な支援にあたった。 ・ケアプランチェックやケア会議を通して自立支援に関する普及啓発活動を行った。 ・介護用品購入費助成事業をととして介護者の経済的な負担を軽減した。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防支援や普及啓発活動に従事するスタッフのマンパワーが不足しており十分な支援ができていない。 ・介護者のニーズや抱えている課題分析ができておらず、介護教室や集いの場が設定できていない <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従事スタッフのマンパワーの確保やケアプラン作成の簡略化、介護者のニーズ把握や関係機関とのネットワーク推進を図りながら、介護予防支援及び介護者の自立支援に努めていく。 | | |
| | <p>○地域ミニデイサービスなどを実施し、高齢者の健康に対する関心の充実</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ミニデイサービス（30箇所）及び各種教室集いの場（34箇所）を開催し、健康づくりに関する啓発活動を実施している。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催を担っているボランティアの高齢化と継続開催の危機。 ・集いに参加していない「閉じこもりがちな高齢者」への対応。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サポーターを育成し支援体制を整える。関係機関との連携により講師等を派遣し多方面からサポートする。 ・訪問系サービスの検討 | | |
| | <p>○高齢者世帯への訪問・声かけ・相談・緊急時の対応等により孤立感の防止と安否確認など、地域と関係機関が連携した社会福祉の推進</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者見守りネットワーク事業」によって、在宅の一人暮らしの高齢者等が地域から孤立することを防止するとともに、その異変を早期に発見して必要な援助を行い、保健・医療・福祉等のさまざまな課題に対する相談支援体制の充実を図った。 【登録者数：84名、見守り協力員：44名、協力事業所：102事業所】 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を容易に見守る対策として有効な手法であるが、仕組みが柔軟であるがゆえに事業としての精度の確立が懸念される。地区役員会等での事業説明などを行って周知を図ることが今後の課題である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者が、住み慣れた地区で安心して暮らすためにも、サポート体制の周知とともに今後の事業拡大に向けて取り組むことが必要である。 | | |

| | | | |
|------|--|--------------|------|
| | <p>○高齢者集落の通院、買い物など高齢者への生活支援</p> <p>■平成27年度の実施概要 ・買い物支援事業において、高齢者等の日常生活の支援策として、食品・日用品の買い物などで手助けを必要としている高齢者等を対象に、登録事業所による商品の配達を行うことによって、高齢者への利便性の向上を図り、また、訪問の際に声をかけるなどの見守りを実施し、安否確認を行った。【買い物支援登録者：218名】</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・買い物支援事業については、広報等による事業周知も行ったが、対象者が高齢者であるため十分な啓蒙ができているとはいえない面がある。</p> <p>■今後の取組方針 ・今後は未利用者への浸透を図るため、地域に入り込みながら高齢者への周知と理解に向けた展開を図るなど、新たな取り組みについて検討していく。</p> | | |
| 2次評価 | <p>高齢化社会を迎え、問題が増えていく中で、地域やボランティア等と連携して、いかに効率的に施策を進めていくかが大きな課題となるため、見守り、買い物支援など事業を強化して支援体制の整備を図っていくこと。</p> | | |
| 基本施策 | 1-2-3-③ | 介護福祉基盤の整備・充実 | |
| 主管課名 | 福祉長寿課 | 所属長名 | 萬屋三男 |
| 関係課名 | | | |
| 1次評価 | <p style="text-align: center;">基本施策の評価</p> <p>○介護保険制度の円滑な運営の推進及び制度の正しい認識の定着のための啓発活動</p> <p>■平成27年度の実施概要 ・介護保険制度の趣旨や仕組み、サービス利用手続き料等について、広報紙・ホームページ等への掲載ほか、「利用ガイド」冊子作成など様々な機会と段を通して広く町民に周知するとともに、居宅介護支援事業所・サービス者等の連携を深め円滑な制度運営に努めている。</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・介護保険制度は3年毎に見直しが行われ、昨今ではこれまでの制度運営で浮かび上がった問題点を踏まえながら、毎年のようにさまざまな改正がなされている。しかしながら、一方では改正の度に複雑さを増し、住民の理解が追いつけない状況も見える。</p> <p>■今後の取組方針 ・介護保険制度は「予防重視型」へと大きく転換され、高齢者が心身ともに自立した状態で、健康寿命の延伸を図ることが求められている。そこで、介護予防の意義や必要性について、高齢者みならずより若世代に対してもさまざまな機会を活用してさらなる介護予防の普及啓発を進める。</p> <p>○介護者の相談等を包括的に支援するため、地域包括支援センターのより一層の充実</p> <p>■平成27年度の実施概要 ・機関紙「めじろ88」や各種事業の際に、総合相談窓口としての役割について周知啓発活動を行っている。多職種との連絡体制構築を進め、多方面からの情報収集ができるように務めている。</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・介護者をサポートするための家族の集い等の取り組みができていない。また、マンパワー不足により寄せられたすべての相談に対して、包括的に支援できていない。</p> <p>■今後の取組方針 ・家族の抱えるニーズについて情報収集する必要がある。また、必要な専門職の確保とスキルアップが必要であるため、地域包括支援センターの体制強化を図り支援の充実に努めていく。</p> | | |

| | |
|------|---|
| | <p>○介護が必要な高齢者に対する、住み慣れた地域での生活を支える地域密着型サービスや在宅福祉サービスの充実</p> <p>■平成27年度 of 取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、地域密着型サービスや在宅福祉サービスの充実を含め、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指して取り組んでいる。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの実現にはさまざまな専門分野の方々の連携が必要であり、特に医療関係者と介護関係者が相互に顔の見える関係を構築し、チームケアを提供できることが求められる。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム実現に向けた業務は介護保険関連にとどまらず、医療機関、地域のボランティア、子育てに関係する事業者をはじめ、多領域に及ぶことから、今後はしっかりした組織を構築して柔軟性を持って取り組むことが必要である。 |
| 2次評価 | <p>地域密着型サービス、地域密着型介護予防サービスの適切な運営を図るため、近年の介護給付費等の動向、今後の高齢者数の推移、地域包括ケアシステムの構築など、関係機関等と連携して介護サービス基盤の整備を強化していくこと。</p> |

成果指標等の達成状況

| 指標名 | | 基準値 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-------------------|-----|------|----------------|-----|-----|-----|------|
| シルバー人材センター 会員数 | 目標 | - | - | | | | 75人 |
| | 実績 | 54人 | 84人 | - | - | - | - |
| | 達成率 | - | 100% (100%) | - | - | - | - |
| 見守りネットワーク地 区数 | 目標 | - | - | - | - | - | 14地区 |
| | 実績 | 6地区 | 8地区 | - | - | - | - |
| | 達成率 | - | 25% (100%) | - | - | - | - |
| 介護保険住宅改修者数 | 目標 | - | - | | | | 114人 |
| | 実績 | 106人 | 125人 | - | - | - | - |
| | 達成率 | - | 100% (100%) | - | - | - | - |

施策事業の進捗状況

1-2-3-① 高齢者の社会参加の推進

| No. | 事業名・担当課・事業目的・概要 | 区分 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
|--------------|--|--------------|---|------------------------|---------|
| 1 | (事業名) 長寿祝金事業 【福祉長寿課】 (事業目的) 長寿を祝福し祝い金を支給することで、多年にわたり地域社会の発展に貢献してきた高齢者に敬意を表すことを目的とする。 (事業概要) 町内に1年以上住所を有し、満100歳に達した高齢者に対し祝金20万円を支給する。 | 実施年度 | 平成16年度～ | | |
| | | 成果指標 | 支給率 | | |
| | | 目標値 | 100% | | |
| | | 実績値 | 100% | | |
| | | 達成率 | 100% | | |
| | | 決算(見込)額 | 1,014千円 | | |
| | | 当該年度執行率 | 100% | | |
| | | 成果指標及び目標値の説明 | 支給対象者の全ての方へ祝金を支給する。 | | |
| | | 取組実績、成果・課題等 | (取組実績) 5名の対象者に対し支給した。 (成果・課題等) 高齢化社会にあつて、社会情勢を踏まえながら対象及び目的の絞込み、実施方法の改善等、制度のあり方を検討していく。 | (取組実績) (成果・課題等) | |
| | | 2 | (事業名) 敬老祝金事業 【福祉長寿課】 (事業目的) 長寿を祝福し祝い金を支給することで、多年にわたり地域社会の発展に貢献してきた高齢者に敬意を表すことを目的とする。 (事業概要) 9月1日現在で、70歳、80歳、90歳の高齢者に対し、祝い金1万円を支給する。 | 実施年度 | 平成16年度～ |
| 成果指標 | 支給率 | | | | |
| 目標値 | 100% | | | | |
| 実績値 | 100% | | | | |
| 達成率 | 100% | | | | |
| 決算(見込)額 | 6,388千円 | | | | |
| 当該年度執行率 | 100% | | | | |
| 成果指標及び目標値の説明 | 支給対象者の全ての方へ祝金を支給する。 | | | | |
| 取組実績、成果・課題等 | (取組実績) 638名の対象者に対し支給した。 (成果・課題等) 高齢化社会にあつて、社会情勢を踏まえながら対象及び目的の絞込み、実施方法の改善等、制度のあり方を検討していく。 | | | (取組実績) (成果・課題等) | |

1-2-3-① 高齢者の社会参加の推進（つづき）

| No. | 事業名・担当課・事業目的・概要 | 区分 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|-------------|---|--|---------------------------|--------|
| 3 | <p>(事業名) 地区敬老会補助事業 【福祉長寿課】</p> <p>(事業目的) 多年にわたり地域社会に尽くした高齢者を敬愛し、地域ぐるみで長寿を祝うため、敬老事業を実施する地区等に対し、その経費を助成する。</p> <p>(事業概要) 敬老事業を実施する地区等に対し、対象者（9月1日現在70歳以上）1人当たり1,500円の助成を行う。</p> | 実施年度 | 平成16年度～ | |
| | | 成果指標 | 敬老事業実施地区 | |
| | | 目標値 | 5地区 | |
| | | 実績値 | 5地区 | |
| | | 達成率 | 100% | |
| | | 決算（見込）額 | 9,204千円 | |
| | | 当該年度執行率 | 100% | |
| | | 成果指標及び目標値の説明 | 長寿を祝う敬老行事を開催した地区を成果指標とした。 | |
| 取組実績、成果・課題等 | (取組実績) | 全地区において敬老事業等を自主開催することができた。 | (取組実績) | |
| | (成果・課題等) | 引き続き、地域で自主開催していくため、各地域と連携して支援していく。 | (成果・課題等) | |
| 4 | <p>(事業名) 単位老人クラブ補助事業 【福祉長寿課】</p> <p>(事業目的) 単位老人クラブが行う各種活動が円滑に実施できるよう助成することで、高齢者のいきがい対策の推進を目的とする。</p> <p>(事業概要) 各単位老人クラブに対する、活動運営費の補助。 (1クラブ47,000円)</p> | 実施年度 | 平成16年度～ | |
| | | 成果指標 | 単位老人クラブ数 | |
| | | 目標値 | 55クラブ | |
| | | 実績値 | 55クラブ | |
| | | 達成率 | 100% | |
| | | 決算（見込）額 | 2,585千円 | |
| | | 当該年度執行率 | 100% | |
| | | 成果指標及び目標値の説明 | 前年度の単位老人クラブ数を目標値としている。 | |
| 取組実績、成果・課題等 | (取組実績) | 55の単位老人クラブの活動に対し、補助金を交付した。 | (取組実績) | |
| | (成果・課題等) | クラブ会員の高齢化等により新規会員の参加が少なくなってきたが、老人クラブ連合会との連携により、高齢者の健康増進・生きがい対策等施策目的の実現に向け実施していく。 | (成果・課題等) | |

1-2-3-① 高齢者の社会参加の推進（つづき）

| No. | 事業名・担当課・事業目的・概要 | 区分 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|-------------|--|--|-------------------------------|--------|
| 5 | <p>(事業名) 老人クラブ連合会補助事業 【福祉長寿課】</p> <p>(事業目的) 老人クラブ連合会が行う各種活動が円滑に実施できるように助成することで、高齢者のいきがい対策の推進を目的とする。</p> <p>(事業概要) 老人クラブ連合会の運営に係る経費について、予算の範囲内にて助成する。</p> | 実施年度 | 平成16年度～ | |
| | | 成果指標 | 老人クラブ会員数 | |
| | | 目標値 | 3,003人 | |
| | | 実績値 | 2,771人 | |
| | | 達成率 | 92.3% | |
| | | 決算（見込）額 | 2,993千円 | |
| | | 当該年度執行率 | 100% | |
| | | 成果指標及び目標値の説明 | 前年度の老人クラブ会員数を目標値としている。 | |
| 取組実績、成果・課題等 | (取組実績) | 会員の高齢化や趣味や嗜好の多様化などにより、会員数は減少傾向にある。 | (取組実績) | |
| | (成果・課題等) | 会員数の減少を抑制するため、クラブ役員等と協力し、各種事業の見直し、改善を進め、クラブの活性化を進める。 | (成果・課題等) | |
| 6 | <p>(事業名) シルバー人材センター運営費補助事業 【福祉長寿課】</p> <p>(事業目的) 働く意欲をもっている健康な高齢者が生きがいとその能力を生かして、地域社会に貢献できるようにするため、シルバー人材センターの円滑な事業運営と安定した基盤ができるまで支援するものである。</p> <p>(事業概要) シルバー人材センターに1名のプロパーを雇用したことに伴い、人件費、運営事務費相当分を補助するもの。</p> | 実施年度 | 平成21年度～ | |
| | | 成果指標 | シルバー人材センター会員数 | |
| | | 目標値 | 75名 | |
| | | 実績値 | 84名 | |
| | | 達成率 | 112% | |
| | | 決算（見込）額 | 1,400千円 | |
| | | 当該年度執行率 | 100% | |
| | | 成果指標及び目標値の説明 | 総合計画の成果指標の目標値をH31までに75名としている。 | |
| 取組実績、成果・課題等 | (取組実績) | 総合計画の目標値を達成することができた。 | (取組実績) | |
| | (成果・課題等) | 地方創生総合戦略においてKPIを100名と目標設定した。KPI達成に向け啓発活動等の充実に努め会員数の増加を目指す。 | (成果・課題等) | |

1-2-3-② 高齢者を支える地域環境づくり

| No. | 事業名・担当課・事業目的・概要 | 区分 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
|-----|--|--------------|--------------------|----------|----------|
| 1 | <p>(事業名)</p> <p>高齢者見守りネットワーク事業</p> <p>【福祉長寿課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>・在宅の一人暮らしの高齢者等が地域から孤立することを防止するとともに、その異変を早期に発見して必要な援助を行い、保健・医療・福祉等のさまざまな課題に対する相談支援体制を充実させる。</p> <p>(事業概要)</p> <p>・見守り協力員は、日常生活の中で声かけや見守り（訪問・姿・灯りの確認等）を行い、協力事業所は、日頃の業務・活動中におけるさりげない見守りをを行っている。また見守り協力員からは、1か月に一度登録者の見守り活動状況報告書の提出がなされている。</p> | 実施年度 | 平成23年度～ | | |
| | | 成果指標 | 登録者数 | | |
| | | 目標値 | 82人 | | |
| | | 実績値 | 84人 | | |
| | | 達成率 | 102% | | |
| | | 決算（見込）額 | 210千円 | | |
| | | 当該年度執行率 | 100% | | |
| | | 成果指標及び目標値の説明 | 前年度の登録者数を目標値としている。 | | |
| | | 取組実績、成果・課題等 | (取組実績) | (取組実績) | (取組実績) |
| | | | (成果・課題等) | (成果・課題等) | (成果・課題等) |